



# デンタル ニュース



2007.4月号

入園・入学・就職など人生の節目の4月がやってきました。木々が芽吹き、花は咲き乱れ、春の生命力を感じますね。春の芽吹きの様子は、まるで小さな子供たちの口にはえたかわいい乳歯のようです。思わず「万緑の中や吾子の歯生えそむる」という中村草田男の俳句が思い浮かびましたが、万緑は夏の季語なので、これはもう少し先の季節の俳句になりますね。歯がはえてきた赤ちゃんや、乳歯から永久歯にはえかわりつつあるお子さんたちは、虫歯がなくても一度歯科に検診に連れて来てくださいね。

## たんぽぽ歯科からのお知らせ



学校や会社での健康診断に  
歯科検診がない場合は  
ご自分で定期的に検診に行くように  
心がけましょう。



## たんぽぽ歯科

住 所 海老名市河原口787  
西山ビル2F  
電 話 046-235-2233  
診療科目 一般歯科、小児歯科、歯列矯正  
審美歯科、インプラント、予防検診  
フッ素塗布

[http:// www.tanpopo - dc.com/](http://www.tanpopo-dc.com/)



## 子どもの歯について

子ども時代の歯である乳歯は、全部生え揃うと20本になります。一般的には5～12歳の間に24本の永久歯に生えかわります。「乳歯はそのうち抜けてしまう歯だから、ちょっとくらい虫歯になっても治療はしなくても平気かな。」なんて放置していませんか？乳歯の虫歯をそのままにしておくと、痛みや腫れで子どもが苦しむだけでなく、永久歯の歯並びにも影響することがあるので要注意です。子どもの歯の健康管理は親の責任ですよ。乳歯の大切な働きについて注目してみましょう。

### 乳歯の働きって？

#### 噛む

よく噛むことで唾液がたくさん出て、食物の消化・吸収がよくなります。そして、噛む動きで、口の周りにあるたくさんの神経を刺激し、脳の発達にも良い影響を与えます。

#### 話す

歯が正しく生えそろっていることで発音も正しくなります。

#### 永久歯を誘導する

乳歯の下では永久歯が次の出番を待っていて、永久歯が生えてくるために、乳歯の下の永久歯もあごの骨も日々成長しています。生えかわりの時になると、乳歯の根は少しずつ吸収されて短くなり、生えるべき正しい場所へ永久歯を導きます。そのバトンタッチがうまくいくと、きれいな歯並びになります。永久歯のきれいな歯並びのためには、まず乳歯が健康できちんと生えそろっていることが大切です。

### 大人になってからも？

「三つ子の魂百まで」とは、幼い時の性質は年をとっても変わらないことをいいますが、お口の中の環境もまさにそれです。大人になってからも幼い時の口内環境は変わりません。乳歯は生えかわりますが、お口の中の細菌の状態は大人になって引き継がれます。子どもの頃から虫歯になりやすい人は、大人になってからも虫歯になりやすいのです。乳歯の頃から虫歯になりにくい口内環境と、それを助ける規則正しい生活習慣を身につけさせてあげたいものです。離乳食の頃に、子どもに食べ物のお口移しをする人がいますが、これは大人の口の中の細菌を移す可能性がありますから注意が必要です。

#### 歯科検診&フッ素

小さいお子さんのためには、いきなり虫歯の治療に通うよりも、定期的に歯科検診やフッ素の塗布に通い、恐怖心を与えないように歯科の雰囲気慣れさせておくというのも大切なことですよ。

